

CONTENTS

刊行にあたって 3

内科疾患治療ガイドラインと歯科での対応

はじめに 川辺良一(聖路加国際病院) 9

1. 高血圧 松井義郎(香川大学医学部) 10

2. 虚血性心疾患 井上 紳 丸岡靖史(昭和大学歯学部) 12

3. 脳卒中 宮崎千佳(横浜宮崎脳神経外科病院) 14

4. 慢性腎臓病(CKD) 小松康宏(聖路加国際病院) 16

5. 抗血栓療法 松野智宣(日本歯科大学生命歯学部) 18

6. 喘息 中村全宏(東京都立東部療育センター) 20

7. 関節リウマチ 楠 芳恵 川合真一(東邦大学医療センター大森病院) 22

8. 糖尿病 堀之内康文(公立学校共済組合九州中央病院) 26

9. 骨粗鬆症 福田竜基 高木敦司(東海大学医学部) 28

10. ビスフォスフォネート製剤とその問題点 斎藤健一(NTT東日本関東病院) 32

11. がん化学療法 上野尚雄(国立がん研究センター中央病院) 34

コラム 歯科診療室における感染予防 辻 明良(東邦大学名誉教授) 36

1章 抗菌薬、抗ウイルス薬

はじめに 金子明寛(東海大学医学部) 37

1. 抗菌薬を使用する前に 五島瑳智子(東邦大学名誉教授) 38

2. 感染症の検査 館田一博(東邦大学医学部) 40

3. 抗菌薬の作用機序 館田一博(東邦大学医学部) 43

4. 起炎菌の検出率を高くするには 長谷川美幸(東邦大学医学部) 46

5. 無芽胞嫌気性菌感染症 西谷 肇(帝京大学医学部) 48

6. 歯性感染症原因菌と各種抗菌薬の抗菌力 小林寅喆(東邦大学医学部) 51

7. β -ラクタマーゼ産生菌 岡本了一(北里大学医学部) 54

8. 薬剤の体内動態(内服薬) 藤村 茂 渡辺 彰(東北大学加齢医学研究所) 56

9. ペニシリン系薬 宇治達哉(大鵬薬品工業株式会社) 58

10. セフェム系抗菌薬
 峯 靖弘(オフィス・ミネサイエンス) 波多野和男(アステラス製薬株式会社) 60

11. 経口セフェム系薬の体内動態と安全性
 峯 靖弘(オフィス・ミネサイエンス) 波多野和男(アステラス製薬株式会社) 62

12.	ファロム [®]	金山明子(東邦大学医学部)	64
13.	ジスロマック [®]	大野 章(東邦大学医学部)	66
14.	クラリス [®]	明石 敏(大正製薬株式会社)	68
15.	クラビット [®]	川崎 聡 青木信樹(新潟市社会事業協会信楽園病院)	70
16.	シタフロキサシン水和物(グレースビット [®])	金子明寛(東海大学医学部)	72
17.	抗真菌薬	池田文昭(三菱化学メディエンス株式会社)	74
18.	抗ヘルペスウイルス薬	宇野健司 三笠桂一(奈良県立医科大学附属病院)	76
19.	口腔バイオフィルム	花田信弘 武内博朗 野村義明(鶴見大学歯学部)	80
20.	歯周病とプロバイオテックス	島内英俊(東北大学大学院)	82
21.	副鼻腔炎の抗菌薬療法	杉田麟也(杉田耳鼻咽喉科)	86
22.	薬剤処方(抗菌薬・消炎鎮痛薬)のポイント		
	①妊娠および授乳時の薬剤処方	成相昭吉(横浜南共済病院)	90
	②薬嫌いの子供に服用させるには	岩田 敏(慶応義塾大学医学部)	92
	③腎機能障害時～鎮痛薬による腎障害も含めて～	河村信夫(東海大学名誉教授)	94
	④高齢者に対するくすりの安全処方	柴 孝也(東京医療保健大学大学院)	96
	⑤感染性心内膜炎	坂本春生(東海大学八王子病院)	100
23.	副作用への対応		
	①薬剤アレルギーテストでどこまで把握可能か	生駒憲広 小澤 明(東海大学医学部)	104
	②薬剤による中毒疹	松山 孝(東海大学医学部)	106
	③消化器症状を少なくする薬剤処方	福田竜基 高木敦司(東海大学医学部)	108
	④偽膜性腸炎	福田竜基 高木敦司(東海大学医学部)	110
	⑤薬剤性肝機能傷害が起こったら	峯 徹哉(東海大学医学部)	112
コラム	帯状疱疹後神経痛治療薬—プレガバリンカプセル リリカ [®] カプセル		
	金子明寛(東海大学医学部)		114
コラム	ジスロマックSR [®] 成人用ドライシロップ2g	金子明寛(東海大学医学部)	116
コラム	非定型顔面痛に対する投薬	井川雅子(静岡市立清水病院)	118

2章 歯科疾患治療薬

はじめに	天笠光雄(東京医科歯科大学大学院)	119	
1.	白板症	鈴木鉄夫(東京医科歯科大学大学院)	120
2.	口腔カンジダ症	吉増秀實(東京医科歯科大学歯学部)	122
3.	ウイルス性口内炎	藤井英治(市立甲府病院)	124
4.	帯状疱疹	藤井英治(市立甲府病院)	126
5.	再発性アフタ	山口 聡(東京医科歯科大学大学院)	128

6.	扁平苔癬	山城正司(東京医科歯科大学大学院)	130
7.	黒毛舌	鈴木鉄夫(東京医科歯科大学大学院)	132
8.	アレルギー性口唇炎	吉増秀實(東京医科歯科大学歯学部)	134
9.	Bell麻痺	山城正司(東京医科歯科大学大学院)	136
10.	三叉神経痛	鵜澤成一(東京医科歯科大学大学院)	138
11.	抜歯後の下唇や舌のしびれ	小林明子(東京医科歯科大学大学院)	140
12.	舌痛症	和気裕之 葛木洋平(みどり小児歯科/東京医科歯科大学大学院)	142
13.	口臭	植野正之(東京医科歯科大学大学院)	144
14.	口腔乾燥症(ドライマウス)	高橋雄三(講道館ビル歯科・口腔外科)	146
15.	顎関節症	儀武啓幸(東京医科歯科大学大学院)	149
16.	心身医学的病態	和嶋浩一(慶應義塾大学医学部)	152
17.	歯周病	荒川真一 和泉雄一(東京医科歯科大学大学院)	154
18.	味覚障害	高橋昌宏 古澤清文(松本歯科大学)	156
コラム	禁煙補助薬	王 宝禮(大阪歯科大学)	160

3章 漢方薬

はじめに	金子明寛(東海大学医学部)	161	
1.	漢方を処方する先生方へ	新井 信(東海大学医学部)	162
2.	口腔症状に対する漢方薬処方	王 宝禮(大阪歯科大学)	166
コラム	サプリメントの賢い選び方	信川益明(慶應義塾大学医学部)	168

4章 鎮痛薬・抗炎症薬

はじめに	椎木一雄(いわき市立総合磐城共立病院)	169	
1.	非ステロイド抗炎症薬(NSAIDs)の種類と使い分け	青木隆幸(東海大学医学部)	170
2.	塩基性鎮痛抗炎症薬	渡辺大介(池上総合病院)	174
3.	アセトアミノフェン	椎木一雄(いわき市立総合磐城共立病院)	176
4.	歯痛に対する鎮痛薬	井川雅子(静岡市立清水病院)	178
5.	抜歯後疼痛に対する鎮痛薬	三科正見(寿泉堂総合病院)	180
6.	顎関節症に対する鎮痛薬・抗炎症薬	杉崎正志(東京慈恵会医科大学)	182
7.	歯性感染症における鎮痛薬・抗炎症薬	山根伸夫(小美玉市医療センター)	184
8.	消炎酵素剤は歯周病に有効か	鈴木基之(昭和大学歯学部)	186

9.	鎮痛薬・抗炎症薬の副作用～多彩な副作用とその対策～	
	森 裕介(いわき市立総合磐城共立病院)	188
10.	鎮痛薬・抗炎症薬と相互作用のある薬剤	青木隆幸(東海大学医学部)
		192
11.	鎮痛薬・抗炎症薬の選択、投与時の注意点	
	①妊婦・授乳婦	椎木一雄(いわき市立総合磐城共立病院)
		194
	②小児	内藤博之(いわき市立総合磐城共立病院)
		196
	③喘息患者	渡邊信雄(いわき市立総合磐城共立病院)
		198
	④胃・十二指腸潰瘍患者	内藤博之(いわき市立総合磐城共立病院)
		200
コラム	アセトアミノフェン(カロナール®など)の用法・用量の改訂について	
	金子明寛(東海大学医学部)	202

5章 局所麻酔薬

はじめに	佐野公人(日本歯科大学新潟生命歯学部)	203
1.	市販の局所麻酔薬	
	①表面麻酔薬	秋山麻美(日本歯科大学新潟病院) 佐野公人(日本歯科大学新潟生命歯学部)
		204
	②浸潤麻酔薬	山崎信也(奥羽大学歯学部)
		206
2.	血管収縮薬を考慮した投与方法	佐野公人(日本歯科大学新潟生命歯学部)
		209
3.	局所麻酔薬(含血管収縮薬)と注意すべき全身疾患	
	①高血圧症	川合宏仁(奥羽大学歯学部)
		212
	②虚血性心疾患(狭心症、心筋梗塞)	藤澤俊明(北海道大学大学院)
		215
	③心房細動	山口秀紀(日本大学松戸歯学部)
		218
	④糖尿病	山口 晃(日本歯科大学新潟病院)
		220
	⑤甲状腺機能亢進症	工藤 勝(北海道医療大学)
		222
	⑥気管支喘息	見崎 徹(日本大学歯学部)
		224
	⑦脳血管障害	大橋 誠(日本歯科大学新潟病院)
		228
4.	局所麻酔薬(含血管収縮薬)の妊婦への投与	関田俊介(鶴見大学歯学部)
		230
5.	局所麻酔時の不安・緊張への対処	
	①前投薬	田中 裕(新潟大学医歯学総合病院)
		232
	②笑気吸入鎮静法	今泉うの 吉田和市(神奈川歯科大学)
		234
	③静脈内鎮静法	渋谷 鑛(日本大学松戸歯学部)
		236
6.	局所麻酔薬アレルギー	山城三喜子(日本歯科大学生命歯学部)
		239
コラム	病院感染における耐性菌の現況と今後注意すべき菌種	
	山岸由佳 三嶋廣繁(愛知医科大学大学院)	242

6章 救急薬

はじめに	佐野公人(日本歯科大学新潟生命歯学部)	245
1.	アナフィラキシー反応 永合徹也(日本歯科大学新潟生命歯学部)	246
2.	心肺蘇生法	
	①最新の一次救命処置 高橋誠治(日本歯科大学附属病院)	248
	②二次救命処置 丹羽 均(大阪大学大学院)	254
3.	救急薬品と使用法	
	①救急薬品の種類と適応 砂田勝久(日本歯科大学生命歯学部)	256
	②救急薬品の投与方法(筋注・静注) 中村仁也(日本歯科大学附属病院)	258
コラム	薬剤処方の経口栄養剤 山崎純子(東海大学医学部)	253
コラム	トクホ(特定保健用食品)について 信川益明(慶應義塾大学医学部)	260

7章 消毒薬、含嗽剤

はじめに	椎木一雄(いわき市立総合磐城共立病院)	261
1.	手指消毒薬～手洗い法にあった消毒薬～ 渡邊 章 高野伸夫(東京歯科大学)	262
2.	歯科器具の消毒薬 澁井武夫 高野伸夫(東京歯科大学)	264
3.	含嗽剤・洗口剤 村松恭太郎 高野伸夫(東京歯科大学)	266
4.	訪問現場での薬剤投与 菊谷 武(日本歯科大学附属病院)	268
5.	口腔ケアに必要な薬剤 佐藤浩子 椎木一雄(いわき市立総合磐城共立病院)	270
コラム	インフルエンザウイルスに対する消毒薬 辻 明良(東邦大学名誉教授)	274

8章 主要薬品一覧表

影向範昭(新潟薬科大学薬学部)	275
-----------------	-----

くすり・プラスワン

ビスフォスフォネート関連顎骨壊死に対するポジションペーパー	川辺良一(聖路加国際病院)	31
抗菌薬療法と処方せんの標準化	金子明寛(東海大学医学部)	39
セフェム系薬の処方	金子明寛(東海大学医学部)	63
高齢者への投与—生理的機能の低下を考慮して①	金子明寛(東海大学医学部)	99
高齢者への投与—生理的機能の低下を考慮して②	金子明寛(東海大学医学部)	159
ニューキノロン系薬	金子明寛(東海大学医学部)	165